

名古屋北部民商ニュース

発行：2023年9月18(月) No. 538

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8111
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.stl.jp

インボイス中止、廃止へ引き続き頑張りましょう！

「市民の声に真摯に耳を傾けてほしい」

名古屋市議会（財政福祉委員会）で口頭意見陳述

9月5日（火）14時から、市議会財政福祉委員会で、名古屋市内民商で提出した「インボイス制度中止を求める意見書を国へ提出することを求める請願」についての審査が行われました。審査に先立って行われた口頭意見陳述では、「STOP！インボイス愛知支部」のHさんが発言。Hさんは「道の駅に野菜を出荷する農家が、『インボイスを理由に小規模な農家を排除することがないように』と声をあげただけで、契約書が届かなくなり、今年の4月から、その道の駅に出荷できなくなってしまった」「ある建築業の会社は、取引先と折り合いがつかず職人12人が辞めてしまった」との事例をあげ、「こんな異常事態が、全国各地のあらゆる業種でおこっている」「コロナ禍、物価高、実質賃金は15か月連続で下がるなか、本当に今始めるんですか」「市民の声に真摯に耳を傾け、市民の生活を守り、市民生活を豊かにする方向に動いてください」と訴えました。口頭意見陳述を受け、議長が発言を促しましたが、共産党の岡田ゆき子市議のみ、挙手して発言。「全国で207の自治体で、インボイス中止や延期の意見書が採択されている。口頭意見陳述でも言われたとおり、小規模な自営業者やフリーランスへ与える影響が大きい。立ち止まることも必要ではないか」と訴えました。議長が「国の動向を注視し、保留としたいと考えますがいかがですか」と言うと「異議なし」の声があがり、保留となりました。口頭意見陳述の前に、各会派をまわりましたが、民主市議団（立憲民主党）の赤松議員が控室に招いて対応。赤松議員は「国会では、インボイス反対の議連で動いているので力になりたいが、市議会での意見書採択は全会一致が条件、自民公明が反対するとむずかしい」「現場の声は大事なので聞かせてほしい」と話してくれました。フリーランスの会のHさんとIさんは「全会一致がむずかしいですね。意見書採択した自治体は、よくやれたね」「わたしたちは、10月に強行されたとしても、3月までに廃止できるようがんばります」と熱意がみなぎっていました。傍聴と会派まわりには、愛商連服部会長と北部民商事務局長も参加しました。



暑いなか、ご苦労様でした！西区平和夏祭りご苦労さん会

8月5日（土）に行われた西区平和夏祭り盆踊り大会では、猛暑のなか白部青年部長はじめ40代、50代の若手が、やぐらやテントの組み立てに大活躍しました。祭り本番では、炭火で焼く焼き鳥が好評で、はやばや完売。水風船にも子どもたちの行列ができました。その労をねぎらうため、9月11日、民商会員のお店「和久」（東区泉）で打ち上げ（ご苦労さん会）を開催。店主の脇本さんが、以前にいわゆる「南極料理人」の経験があるということで、いろんな裏話も聞くことができました。丁寧な仕事の美味しい料理とお酒を堪能し、おおいに盛り上がりました。（参加者の半分はコーラでしたが）20数年にわたって、民商青年部の出店を切り盛りしてきた元青年部長の立石さんから「今回で、夏祭り自体が、ひと区切りということで、長い間、皆さんご協力ありがとうございました」とあいさつがありました。



前進座公演 「あかんべえ」 原作 宮部みゆき

日時 10月9日（月・祝）14時開演
場所 日本特殊陶業市民会館ビレッジホール 特別料金7500円（定価8500円）
*チケット 民商にあります。ご希望の方は、ご連絡ください。